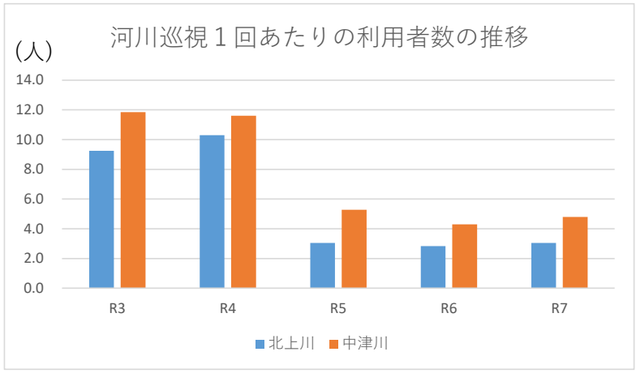
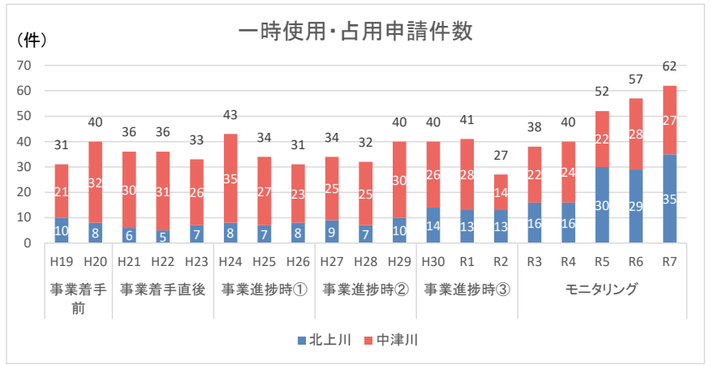
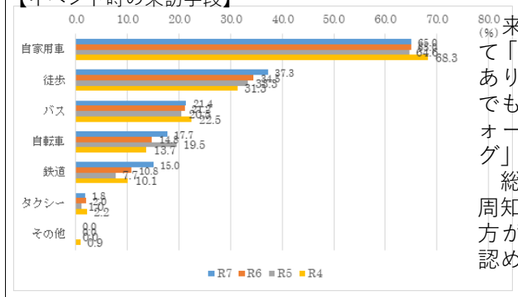
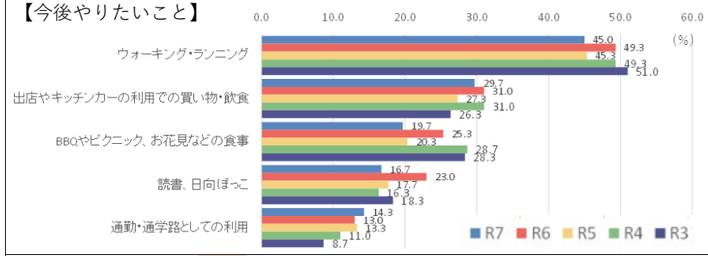
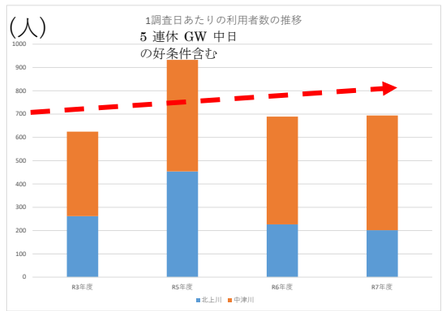
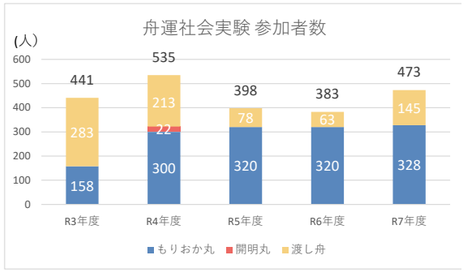
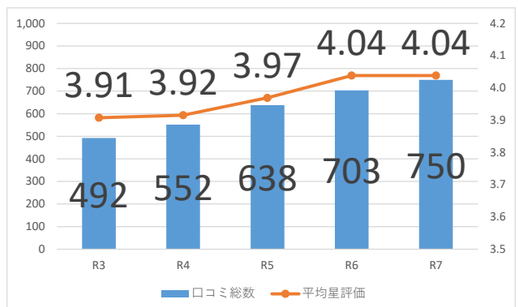
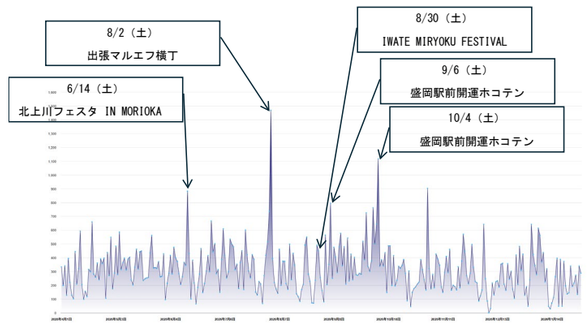
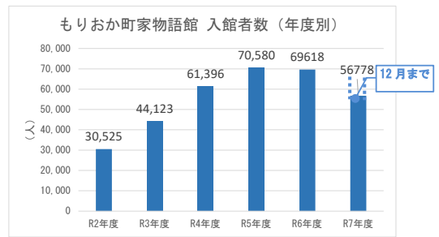
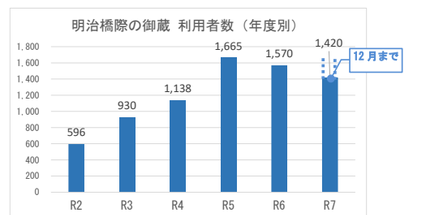
盛岡地区かわまちづくり

モニタリング結果

― R3 年度～R7 年度 ―

※R7 年 12 月結果まで

5 年間(R3 年度-R7 年度)のモニタリング結果の取りまとめ

指標	日常利用	イベント（スポット的）利用	参考データ
メインとなる指標	**日常の利用者数（調査１回あたり）** （No.4 河川巡視時の利用者数カウント調査） 巡視１回あたりの利用者数の推移  北上川においては R3 年度から R4 年度にかけてやや顕著な増加が見られたが、R５年度に大幅な減少が生じ、その後は横ばいとなっている。 中津川においても R5 年度に大幅な減少が生じ、Ｒ６年度も微減の傾向であったが、Ｒ７年度にはやや増加の傾向がみられる。	**一時使用・占用平均申請件数**　（No.7 一時使用・占用申請書類）  （一時使用・占用申請件数については記録が残っていることから事業着手前からの推移を示す） R2 年度の新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響による減少から順調に回復し、感染症流行前の水準を超えてさらに増加傾向にある。	**来訪手段・今後やりたいこと**　（No.2 web アンケート） 【イベント時の来訪手段】  来訪手段では一貫して「徒歩」が増加傾向であり、今後やりたいことでも、一貫して徒歩、ウォーキング・ランニング」が最多である。 総じて、環境の良さの周知が進み、楽しみたい方が増えている傾向が認められる。 【今後やりたいこと】 
サブ指標	**日常の利用者数（１調査日あたり）**　（No.1 水辺の国勢調査に準じた調査）  全体傾向として、5 連休 GW 中日の好条件調査日を含む R5 年度が突出しているが、概ね横ばい~微増傾向である	**舟運社会実験参加者数**　（No.8 舟運実験報告書）  運航回数が限られていることから増減は微小であり、参加者が少なかった年は雨天等による運航便数減が影響している。 R7 年度については新造船による渡し舟の運航が参加者増につながっている。	**利用状況写真**　（No.5 河川巡視時の利用者状況写真撮影） 
	かわまち区間の橋梁等の Google マップの評価 **・クチコミ数の伸び**　（No.3 SNS 検索）  かわまちづくり対象区間の橋梁（人道橋含む）+スポットのクチコミ総数、平均星評価共に伸びており、堅調に推移している。	**木伏緑地のイベント開催状況**　（No.14　KLA 分析） ・主催イベント及び近隣でのイベント開催日において来訪者が顕著に多かったことがわかる。  図　KLA による日別来訪者数推計（2025 年 4 月～2026 年 1 月）（滞在時間 15 分以上） （データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」）	**沿川集客施設の利用状況**　（No.13 盛岡市データ）   両施設ともに R2 年度より増加傾向にある。R6 年度に両施設ともに微減の傾向が見られたが、R7 年度は 12 月までの数字ではあるものの、順調な伸びを示していると捉えられる。

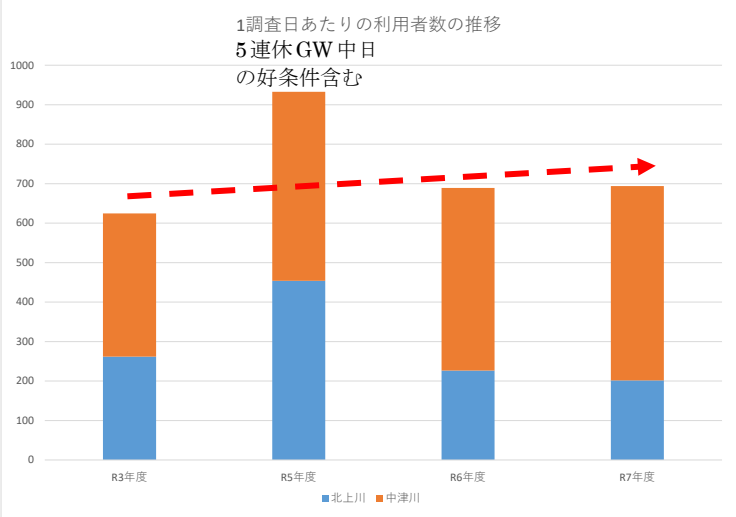
No. 1	水辺の国勢調査【利用実態調査】に準じた調査	
モニタリング指標		利用者数、利用状況写真
調査手法		水辺の国勢調査【利用実態調査】に準じた現地調査
調査・事業の枠組み		かわまちモニタリング調査
調査主体		河川管理者
調査時期・頻度または回数		春季休日①、春季休日②、春季平日、夏季休日、夏季平日、秋季休日、冬季休日・年 7 回
かわまちの取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	―

R3，R5、R6、R7 モニタリング結果

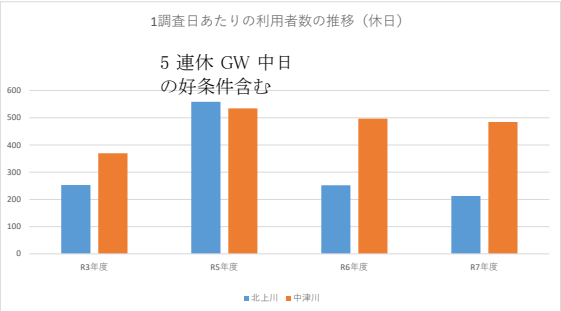
《定点調査の枠組み》

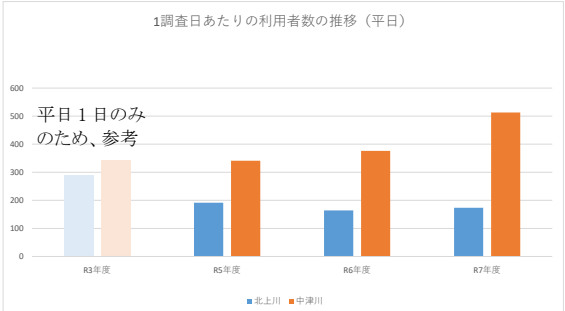
・年 7 回の指定調査日に 2 時間ごとの利用者数をカウントし、各地点の合計を 1 日あたりの平均利用者数とする（北上川：不来方橋～夕顔瀬橋、中津川：毘沙門橋～富士見橋）

《経年変化》



・全体傾向として、5 連休 GW 中日の好条件調査日を含む R5 年度が突出しているが、概ね横ばい~微増傾向である。





・平日と休日の別に見てみると、中津川においては休日の利用者は高止まりの状態であるが、平日の利用者が確実に増加傾向である。

・北上川においては、R 5 年度の休日が前述のとおり突出して利用者が多いが、平休日ともに利用者数は、横ばいの傾向であることがわかる。

※R3 年度は、春季調査（休日 2 日、平日 1 日）が未実施であるため、1 調査日当たりの平均で算出

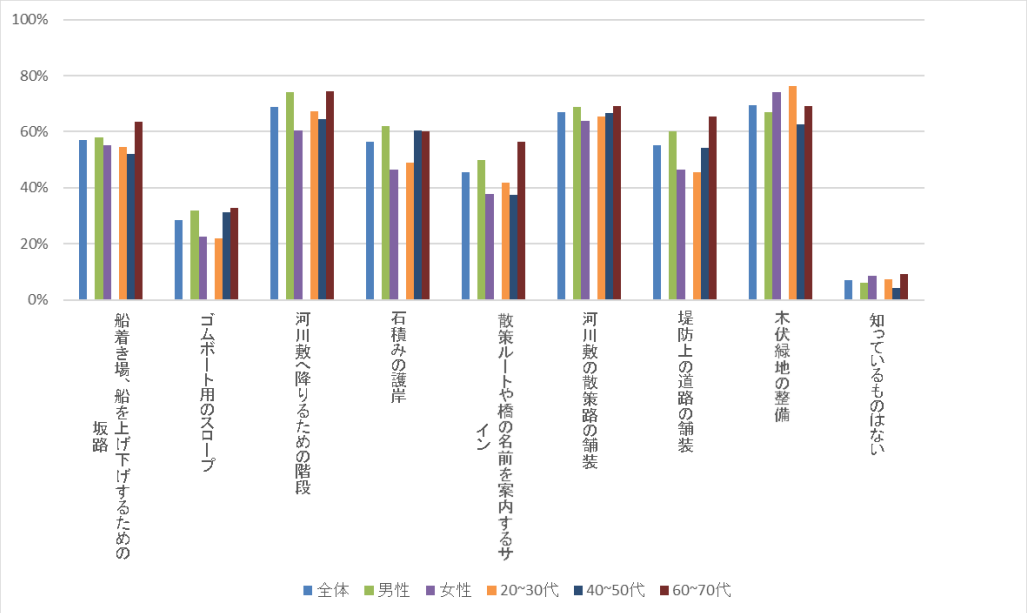
※調査日のうち、終日雨天の R5.5.15、 R6.5.20、R7.1.12 は、水国マニュアル記載の雨係数（2.85）を乗じて算出

No. 2	web アンケート	
モニタリング指標		市民の認知度、利用者意向
調査手法		web アンケート
調査・事業の枠組み		かわまちモニタリング調査
調査主体		河川管理者
調査時期・頻度または回数		任意・年 1 回
かわまちの取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	サケ、イベント

R3 モニタリング結果　**（※R3 年度のみの設問部分）**

《北上川》

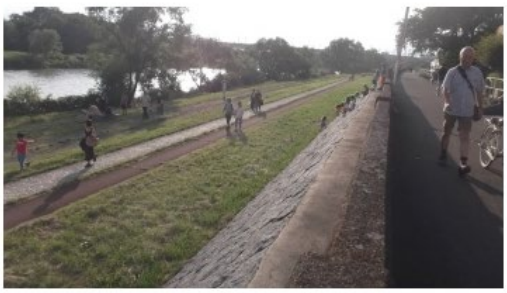
Q.北上川沿いの次の整備のうち、知っているものを選択してください。（いくつでも）



・整備施設・イベントの認知度は、20～30 代で低く、60～70 代で高い傾向がみられたが、木伏緑地周辺では、より若い年代の認知度が高い傾向がみられた。

Q.石積み護岸の整備について、どのように感じますか。
（とても良い　良い　普通　やや悪い　悪い　の 5 段階評価）


［画像を拡大］

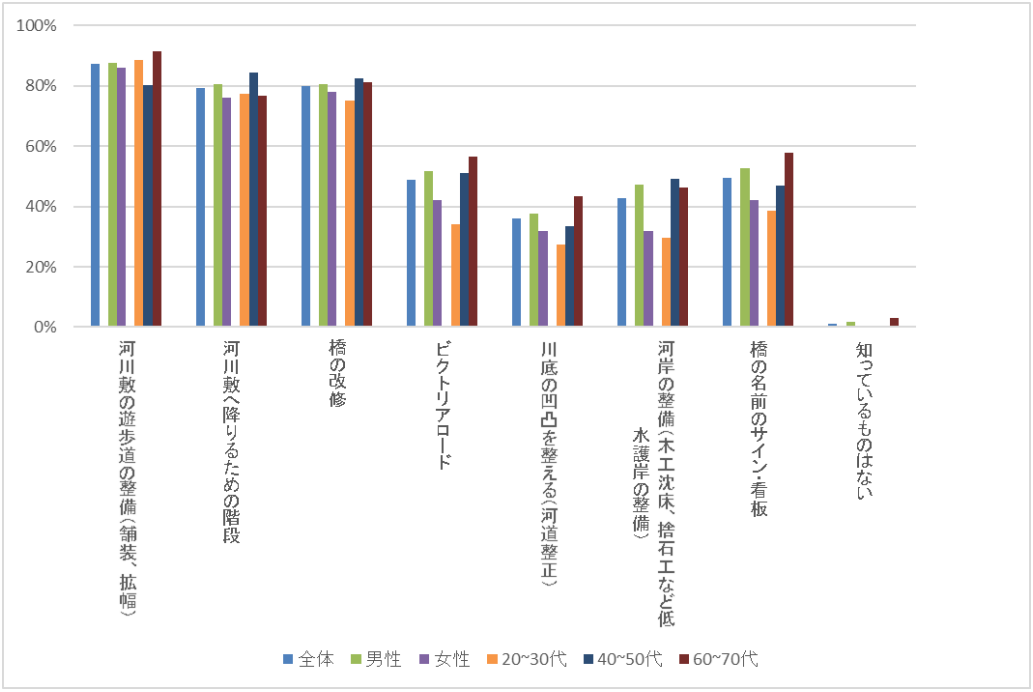

［画像を拡大］

←アンケート画面

・石積み護岸の整備は、全体の 70%が「とても良い」「良い」と回答した。

《中津川》

Q.中津川沿いの次の整備のうち、知っているものを選択してください。（いくつでも）



・整備施設・イベントの認知度は、20～30 代で低く、60～70 代で高い傾向がみられた。

・サケの遡上は、9 割以上で認知があったが、年代が若くなるにつれて、見に行ったことがある人の割合が減少していた。

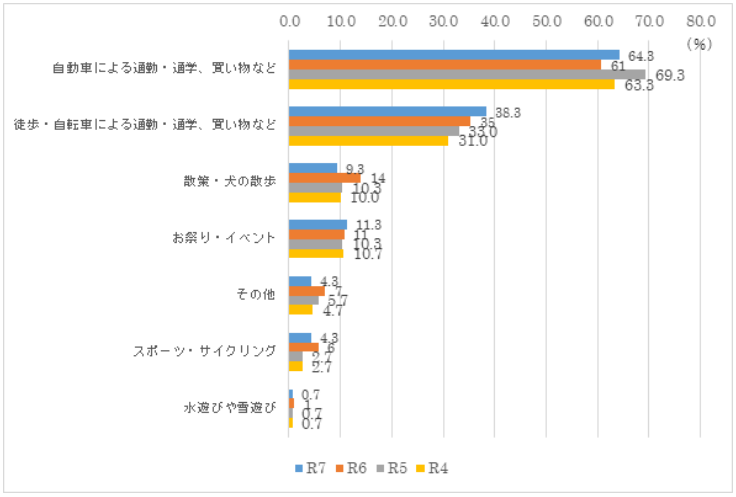
アンケート画面→



No. 2　web アンケート

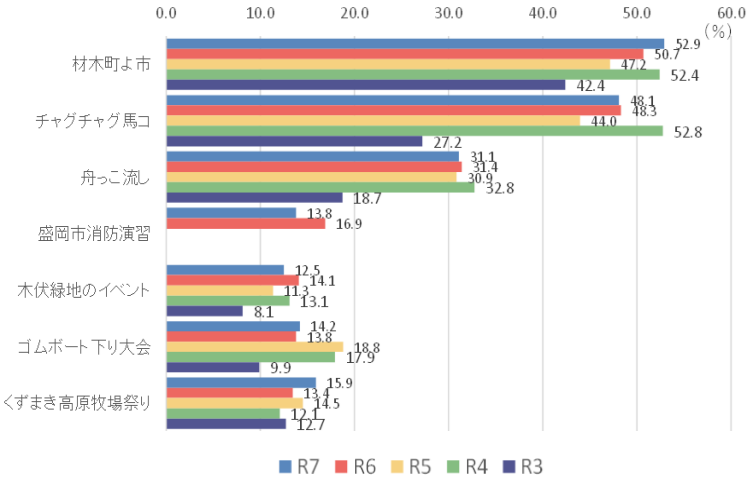
R3～R7 モニタリング結果　**（※R3～R7 経年比較）**

Q1. 来訪場面・手段



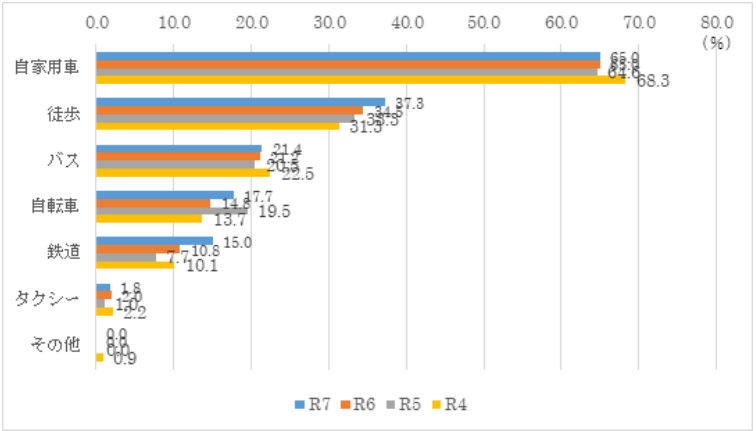
・徒歩・自転車による来訪については一貫して増加の傾向であり、徒歩や自転車でこの場所を通ることの楽しみを感じていただけている方が増えている傾向を読み取ることができる。

Q3. イベント・取組への参加状況（部分）



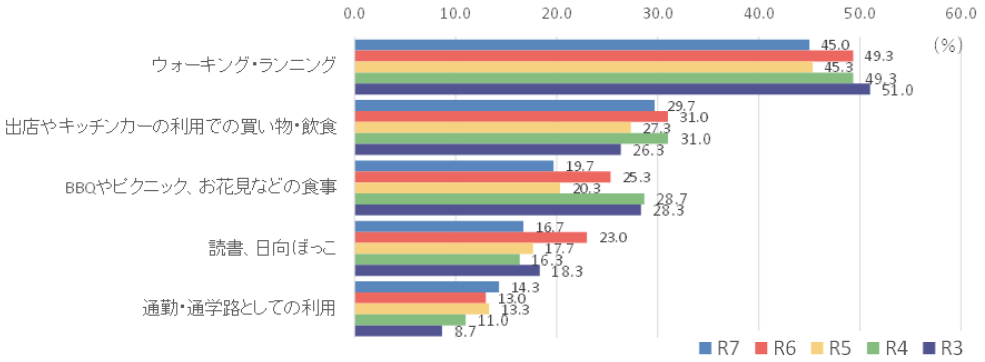
・材木町よ市とチャグチャグ馬コについてはほぼ半数の方に参加経験がある。
・木伏緑地のイベントについては、Ｒ７年度前年度よりも参加経験者が少ない傾向となった。これは、例年行われていた周年イベントがＲ７年度は開催されなかったことなどが影響しているものと推察される。

Q4. イベント来訪時の交通手段



・R4 年度から一貫して徒歩が増加してきている。一貫して増加傾向にある交通手段は「徒歩」のみである。

Q6. 今後やりたいこと



・「ウォーキング・ランニング」の希望が一貫して高く、「通勤・通学路としての利用」は増加傾向が顕著であることから、この場所の環境の良さが認識された上で、利用したいとの要望が高まっているものと捉えることができる。

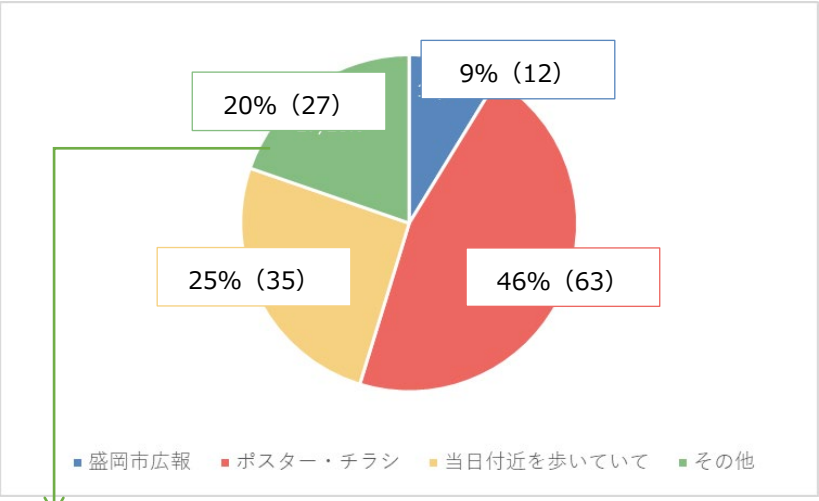
総じて、川沿いの環境の良さの周知が進んでおり、それを楽しみたい方が増えてきている傾向を認めることができる。

No. 2 -2　対面アンケート

R4 モニタリング結果　（※R4 年度のみ実施）

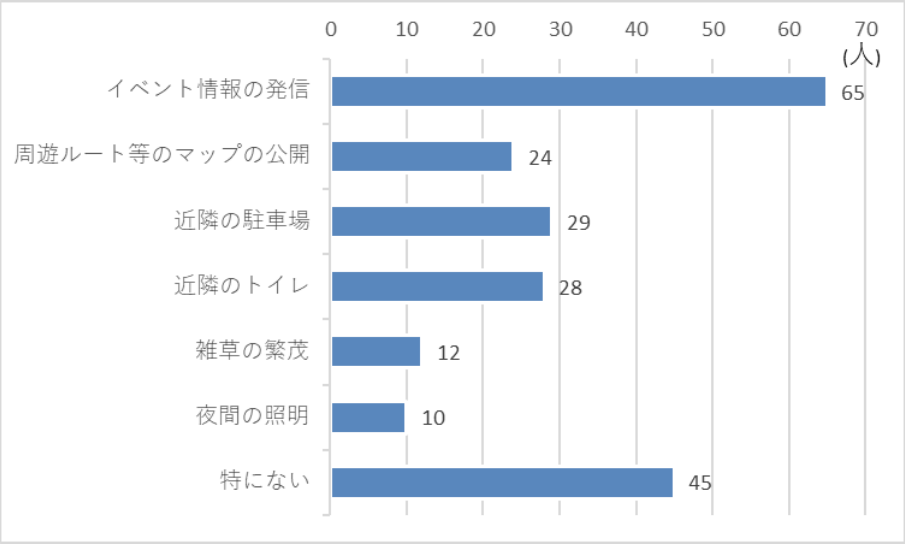
・北上川フェスタにおいて、イベント参加者の感想等を収集できる機会があったため、イベント自体に関する感想や河川の利活用全体に関わる内容（web アンケートと共通）について、対面形式のアンケートを行って調査した。

Q4. 来場のきっかけ（n=130）



その他
インターネット（ホームページ、ブログ、SNS）（8 票）、知人等の紹介（6 票）、ラジオ（2 票）、駅前で（2 票）、自分も関係者（2 票）、看板（1 票）、のろし（1 票）

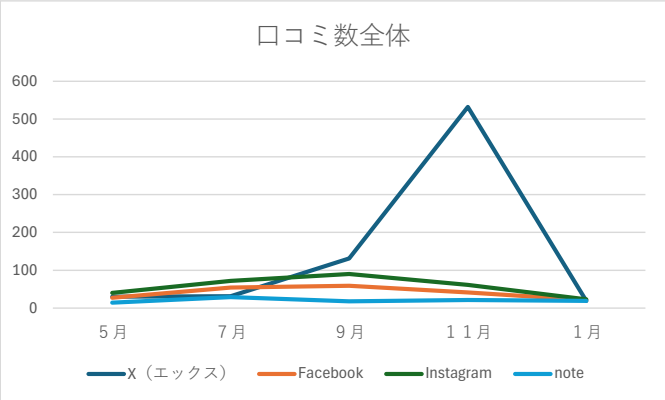
Q.15 今後、北上川・中津川沿いを利用しやすくするために、改善したほうがよい点はありますか。(n=140)



No. 3	SNS 投稿および web 情報	
モニタリング指標		SNS の投稿およびリアクション数、口コミ数・内容など
調査手法		web 検索
調査・事業の枠組み		かわまちモニタリング調査
調査主体		河川管理者
調査時期・頻度または回数		任意・年 4 回
かわまちの取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	サケ、イベント、活動団体

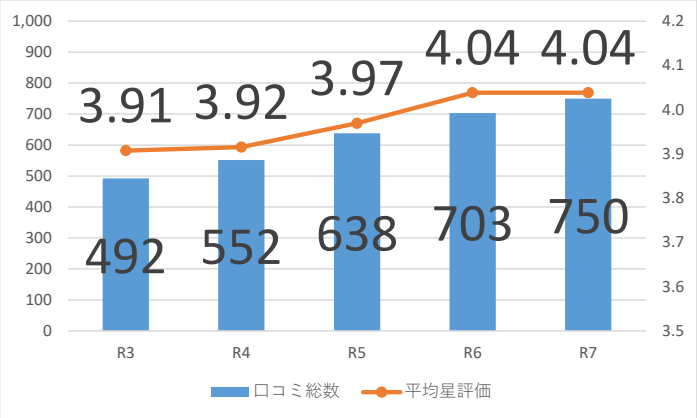
R3-R7 モニタリング結果

《R7 年度の SNS 投稿の状況》



・全体から見ると、X（旧 Twitter）と Facebook からの投稿が多く、昨年同様にイベントの多い秋季に多くの投稿が確認された。
・令和 7 年度は、特に秋季はクマに係る投稿がみられた。

《Google マップの口コミ》



・かわまちづくり対象区間の橋梁（人道橋含む）+スポットの口コミ総数、平均星評価共に伸びており、堅調に推移している。

スポット名	R6年度	R5年度
木伏緑地	カフェ11、飲食店10、散歩8、ハンバーガー7、テラス6、ビール6、コンテナ5、昼5、居酒屋5、ジェラート	カフェ11、飲食店10、ハンバーガー6、テラス6、散歩6、コンテナ4、お洒落4、ジェラート3、ケーキ3、お

・キーワードおよびその数について「木伏緑地」をスポット的に見てみると、令和 5 年度~令和 6 年度に「ビール」や「居酒屋」など木伏緑地で開催されたイベントに起因するあらたなキーワードが出てきている（令和 7 年度は令和 6 年度よりキーワード追加なし）。（赤字：前年度より口コミ数が増えたキーワード、緑字：前年度はピックアップされていなかったキーワード）

R3-R7 モニタリング結果

《クチコミの投稿例》

・直近の投稿事例では、インバウンドの方の投稿も比較的多く見られ、令和 5 年 1 月にニューヨークタイムズ紙が発表した「2023 年に行くべき 52 カ所」において盛岡市がロンドンに次いで 2 番目となったことなども影響している可能性がある。



《SNS 投稿キャンペーン》※R4 年度のみ実施

・過年度の検討において、イベント・事業の PR、web を活用した情報発信に課題があることが明らかになっており、web を活用した PR を試行した。

・共通ハッシュタグ「#ミズベリング盛岡」を設定し、盛岡の水辺の利活用風景を SNS でシェアする呼びかけを行った。



各 SNS における投稿件数
（河川管理者によるものを含む）

Twitter	8 件
Facebook	２２件
Instagram	1 件
YouTube	0 件

No.追 1　かわまちづくり PR マップ

モニタリング指標		配布数
調査手法		冊子配布情報を収集・整理する
調査・事業の枠組み		かわまちモニタリング調査
調査主体		河川管理者
調査時期・頻度または回数		おおよそ冬頃・年 1 回
かわまちの取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	サケ、イベント

R4 モニタリング結果　**（※R4 年度のみ実施）**

・かわまちづくりの PR のため、R4 年度に新たに作成し 1 万部印刷した「盛岡かわまちづくり～季節の音巡りマップ～」について、R4 年 12 月時点の配布状況を次のとおりとりまとめている。

・R4 年度に印刷した約半分を配布した。

R4年度	印刷数	10,000
	残部	4,531
周辺施設	おでって窓口	300
	おでって窓口	1,000
	おでって掲示板	125
	歴史文化館	300
	歴史文化館	1,000
	盛岡駅観光案内所	300
	もりおか町家物語館	300
関係者	懇談会メンバー	11
	勉強会メンバー	28
	岩手河川国道事務所玄関	50
	岩手河国盛岡出張所	50
	盛岡市観光課	600
	盛岡市公園みどり課	300
	かわまち舟運実行委員会	50
	岩手県観光協会	50
学校	沿川小学校6年生	708
イベント	第5回北上川フェスタ(6/18)	100
	木伏開業3周年イベント(9/10)	97
	祝バスセンター開業舟運(10/8)	100

No. 4	河川巡視に併せた利用者カウント調査	
モニタリング指標		利用者数
調査手法		河川巡視に併せて現地でカウント調査を行う
調査・事業の枠組み		河川巡視
調査主体		河川管理者
調査時期・頻度または回数		河川巡視に準ずる・概ね隔週
かわまちの取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	―

R3-R7 モニタリング結果

巡視回数（地点毎）

《北上川》

R3：23～46 回

R4：24～48 回

R5：22 回

R6：24 回

R7：20 回

《中津川》

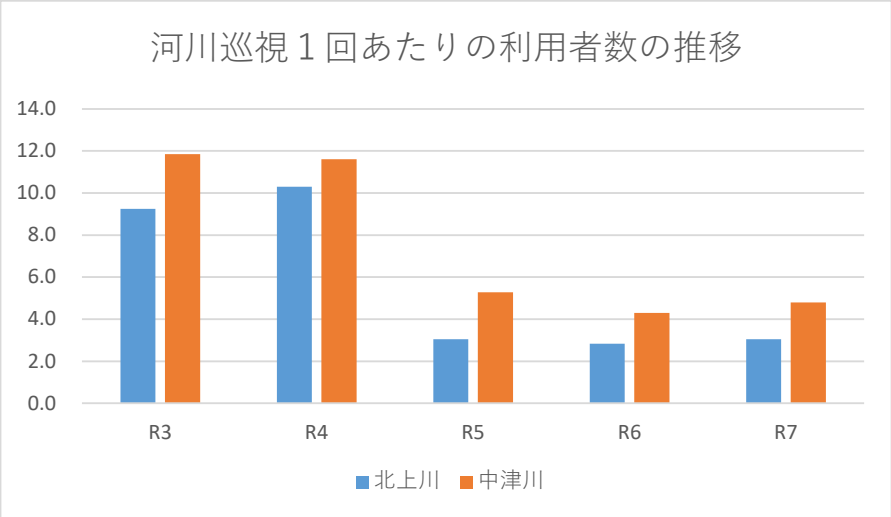
R3：24 回

R4：23～24 回

R5：22 回

R6：24 回

R7：20 回



北上川においては R3 年度から R4 年度にかけてやや顕著な増加が見られたが、R５年度に大幅な減少が生じ、その後は横ばいとなっている。

中津川においても R5 年度に大幅な減少が生じ、R ６年度も微減の傾向であったが、R ７年度にはやや増加の傾向がみられる。

No. 5	河川巡視に併せた利用状況写真撮影	
モニタリング指標		利用状況写真
調査手法		河川巡視に併せて現地で利用状況の写真撮影を行う
調査・事業の枠組み		河川巡視
調査主体		河川管理者
調査時期・頻度または回数		河川巡視に準ずる・概ね隔週
かわまちの取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	―

R3-R7 モニタリング結果

・日常利用の様子を撮影した。



明治橋　ジョギング



明治橋　自転車等



明治橋　ジョギング



開運橋　集い・遊び



開運橋　休憩・会話



開運橋　休憩・会話



中の橋　水遊び



中の橋　水遊び



与の字橋　散策



与の字橋　散策



与の字橋　散策



山賀橋　散策



山賀橋　草刈り



山賀橋　散策

No. 6	河川巡視に併せた整備状況写真撮影	
モニタリング指標		石積護岸の雑草被覆状況写真、河道の大型樹木や岩、堆砂など状況写真
調査手法		河川巡視に併せて現地で利用状況の写真撮影を行う
調査・事業の枠組み		河川巡視
調査主体		河川管理者
調査時期・頻度または回数		河川巡視に準ずる・概ね隔週
かわまちの取り組み	ハード	景観（石積）
	ソフト	イベント

R3-R7 モニタリング結果

《石積み護岸》

・明治橋左岸上下流について状況を確認。
・石積み護岸に対する雑草の被覆はみられなかった。
・護岸の法尻には雑草が侵入していたが、大きな支障はなかった。


明治橋左岸上流
法尻部に雑草の侵入が見られる


明治橋左岸上流
同左

《流下の支障物》

〔北上川〕


明治橋上流


明治橋下流


開運橋上流


開運橋下流

〔中津川〕


中の橋上流


中の橋下流


与の字橋上流


与の字橋下流


山賀橋上流

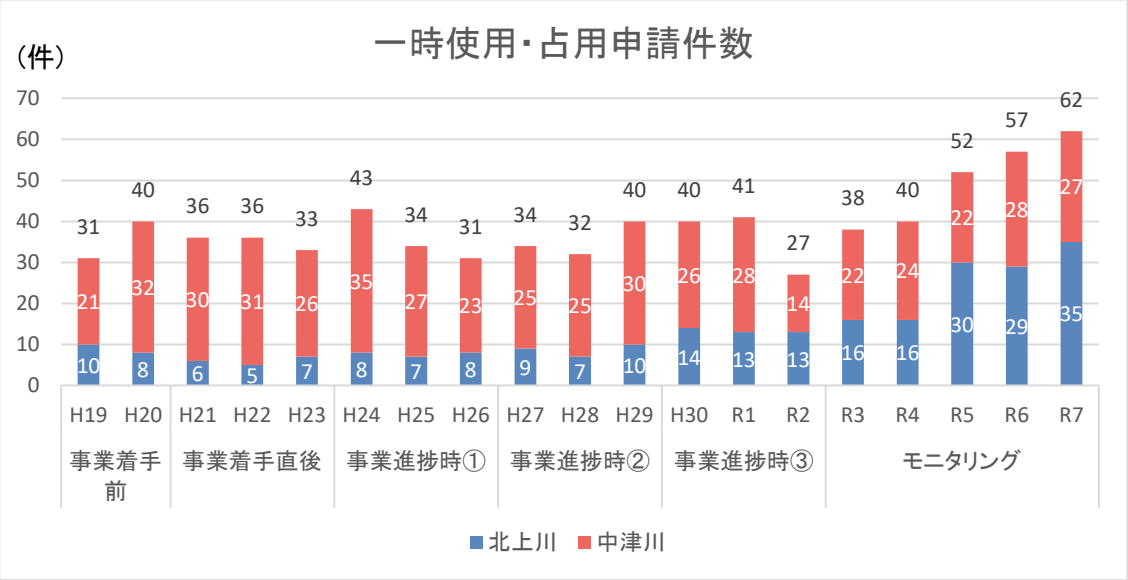

山賀橋下流

・河道の様子について、5 箇所（明治橋、開運橋、中の橋、与の字橋、山賀橋）をモニタリングした。
・自然護岸の箇所については、草やヤナギの侵入が見られたが利活用上大きな支障となる流下支障物はなかった。

No. 7	一時使用・占用申請書類	
モニタリング指標		イベント数、イベント内容、参加者数、イベント時期
調査手法		一時使用・占用申請書類を収集・整理する
調査・事業の枠組み		イベント等による河川の占用調整（管理）
調査主体		河川管理者
調査時期・頻度または回数		随時
かわまちの取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	イベント、活動団体

R3-R7 モニタリング結果

《件数》　※中津川・北上川にまたがる申請は各 1 件としてカウント

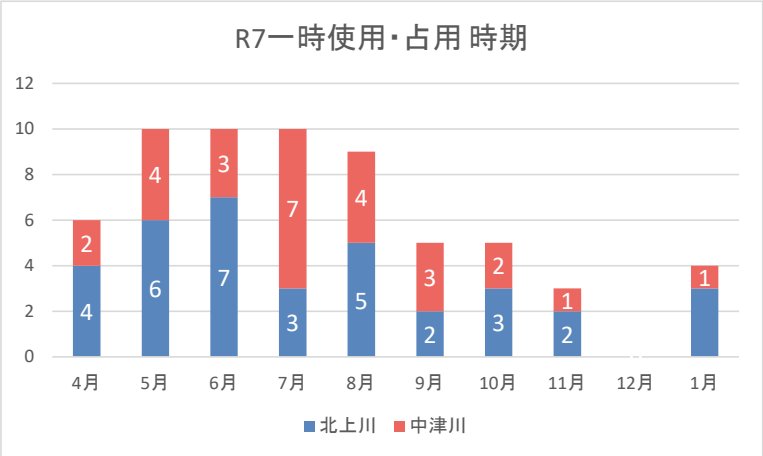


・一時使用・占用申請件数から、R3-R7 年度のイベント等の河川区域の利用状況は、R2 年度の新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響による減少から回復し、感染症流行前の水準を超えてさらに増加傾向にある。

・２河川を個別に見ると、北上川においては R５年度に大きく増加した後 R6 年度は微減となり、令和７年度に大きく増加している。中津川においては R5 年度に微減となった後 R6 年度は大幅に増加し、令和７年度は微減となった。

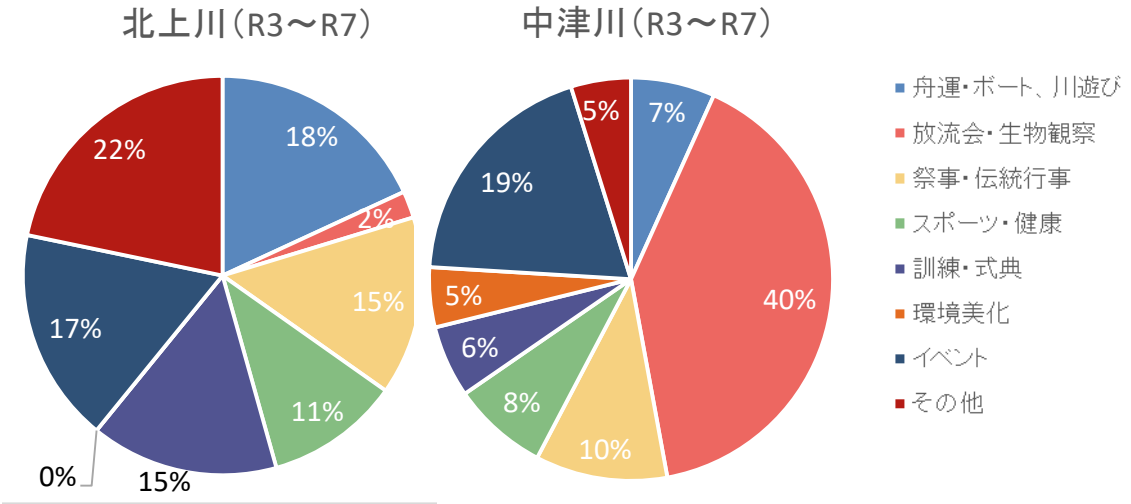
・令和３～７年度における一時使用・一時占用の傾向を見ると、北上川 138 件、中津川 104 件となり、北上川における申請件数が多かった。新型コロナウイルスの影響によって一時的に河川使用、河川占用の件数が減少したが、大きな傾向としては件数が増加している。

《利用時期》



・夏の暑さを避けた時期の利用が多い年と関係なく利用される年があるが、令和７年は特に中津川で生物調査、川遊びなどで良く利用された、
・例年、冬は利用が減少する。
・5 月、6 月、10 月は定例のイベント、活動等があるために安定した利用がある。

《内容》



一時使用・占用内容の分類

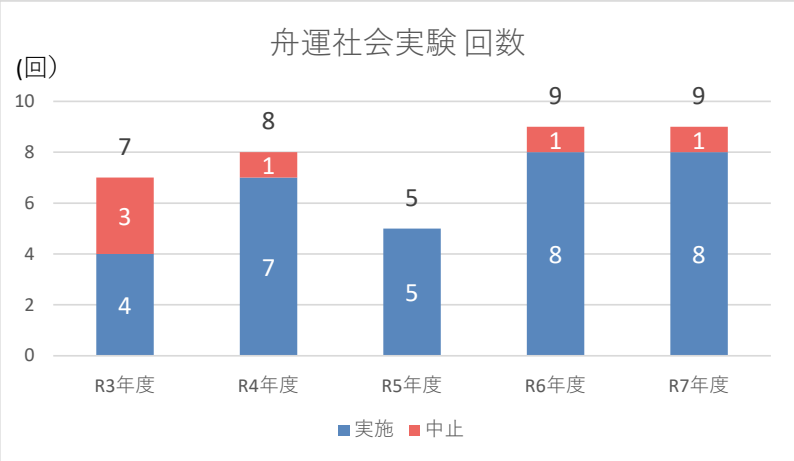
ジャンル	内容
舟運・ボート、川遊び	舟運、ゴムボート川下り、川遊び
放流会・生物観察	稚魚放流会、水生生物調査
祭事・伝統行事	祭事、花火大会
スポーツ・健康	マラソン
訓練・式典	水難救助訓練、消防演習
環境美化	ごみ拾い
イベント	キャンプ、屋台村、あゆ釣り教室
その他	工事、鮭捕獲の網設置、CM 撮影 ドローン運転、研究機関による利用

・北上川は川下り、祭事・伝統行事（花火等）、訓練・式典（消防演習等）、スポーツ（マラソン）など人が多く集まるような利用が多かった。
・中津川は自然環境の豊かさを活かした利用が多く見られ、水生生物調査が学校だけでなく、銀行が主催するなど頻繁に行われていた。あゆの放流会、釣り教室の開催、多様な世代が自然に触れるフィールドとして利用していることがわかった。チャグチャグ馬コや花火など伝統行事にも利用されていた。

No. 8	舟運社会実験実施状況	
モニタリング指標		実施回数、利用者数
調査手法		舟運実験報告書等を収集・整理する
調査・事業の枠組み		舟運事業
調査主体		盛岡市（公園・みどり課）
調査時期・頻度または回数		おおよそ冬頃・年１回
かわまちの取り組み	ハード	親水（船着場、スロープ）
	ソフト	イベント

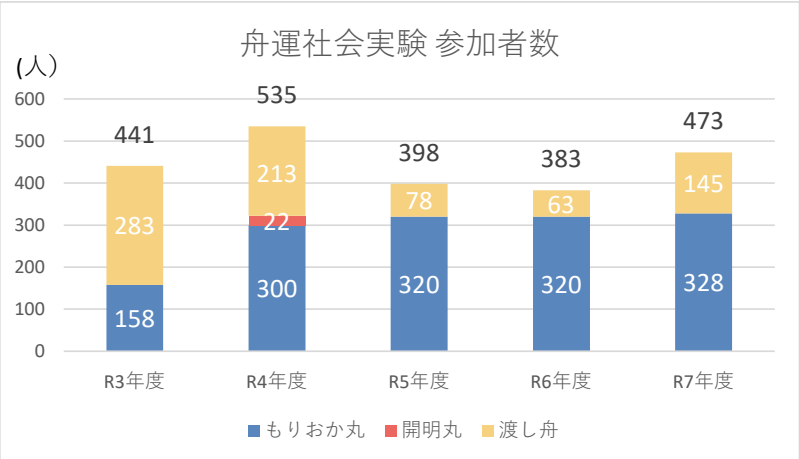
R3-R7 モニタリング結果

《回数》



・令和３年度はコロナ禍による中止が３回、令和４年度は増水による中止が１回、令和５年度は中止がなく、令和６年度は雨天による中止が１回であった。令和７年度は雨天で１回中止になり、令和６年度と同様の実施回数となり、現状維持で推移している。

《参加者数》



・令和６年度は昨年度と大差のない参加者数であった。実施日は昨年度よりも増やしていることに対し、初回と２回目においては午後に訓練を行うなど、運航便数を減らしていることが結果に現れている。

・令和 7 年度は川開き(5/10)が雨天中止となったが、他のイベントは順調に開催された。渡し舟としてもりおかまる２号を運行して、参加者数の増加につながった。

No. 9	サケのぼり	
モニタリング指標		設置数
調査手法		サケのぼり設置情報を収集・整理する
調査・事業の枠組み		サケを活かしたまちおこし
調査主体		河川管理者
調査時期・頻度または回数		おおよそ冬頃・年１回
かわまちの取り組み	ハード	―
	ソフト	サケ

R3-R4 モニタリング結果　（※R3～R4 年度のみ実施）

・R3 年度および R4 年度は、国土交通省岩手河川国道事務所が 5 か所に設置した。



《設置箇所》

・毘沙門橋右岸上流
・中の橋右岸下流
・与の字橋右岸下流
・山賀橋上流右岸
・浅岸橋上流右岸



No.10　冊子「もりおか中津川サケ物語」配布状況

モニタリング指標		配布数
調査手法		冊子配布情報を収集・整理する
調査・事業の枠組み		サケを活かしたまちおこし
調査主体		河川管理者、盛岡市（公園・みどり課、観光課）
調査時期・頻度または回数		おおよそ冬頃・年１回
かわまちの取り組み	ハード	―
	ソフト	サケ

R3-R5 モニタリング結果　（※R2～R5 年度まで実施）

・R2 年度に改訂を行い、新たに 1 万部増刷したサケに関する冊子「もりおか中津川サケ物語」について、R5 年 12 月時点の配布状況を次のとおりとりまとめている。

・R5 年度も継続して配布し、残りはわずかとなっている。

R2年度に改訂版をかわまち勉強会事務局で10,000部印刷

		盛岡市 公園みどり課	盛岡市 観光課	冊子作成 ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ ﾒﾝﾊﾞｰ	国土交通省 岩手河川 国道事務所	岩手県 河川課	岩手県 水産振興課
R2	改定版配分数	250	3,000	3,846	2,854	25	25
R4	残部	1	0	－	673	－	－

年度	配布先	配布部数					
R2	沿川学校の児童・生徒				728		
R2-3	課、おでって、歴史文化館窓口		1,250				
	児童センター 他		1,750				
	課窓口,公園愛護会研修会	75					
R3	沿川学校の児童・生徒				745		
R4	沿川学校の児童・生徒				708		
	課窓口	70					
R5	課窓口	104					

No.11	冊子「もりおか中津川サケ物語」活用状況	
モニタリング指標		活用状況アンケート
調査手法		主な配布先である沿川小学校を対象にアンケート実施する
調査・事業の枠組み		サケを活かしたまちおこし
調査主体		河川管理者
調査時期・頻度または回数		―・２～３年に１回
かわまちの取り組み	ハード	―
	ソフト	サケ

R3-R7 モニタリング結果　**（※増刷予定がないため未実施）**

・「もりおか中津川サケ物語」は平成 29 年に発行し、令和 2 年に改訂および増刷されており、改定前の令和元年度には増刷部数把握のためにアンケートを実施している。

・本項目は、配布状況調査と合わせて増刷実施のための把握項目であるが、サケ遡上がみられなくなり、増刷予定がないことから、調査を実施しないこととした。

No.12	盛岡市観光入込客数	
モニタリング指標		盛岡市観光入込客数
収集手法		盛岡市よりデータを提供いただく
調査・事業の枠組み		盛岡市 統計調査
調査主体		盛岡市（観光課）
収集時期・頻度または回数		おおよそ冬頃・年に１回
かわまちの取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	サケ、イベント、活動団体

R3-R7 モニタリング結果

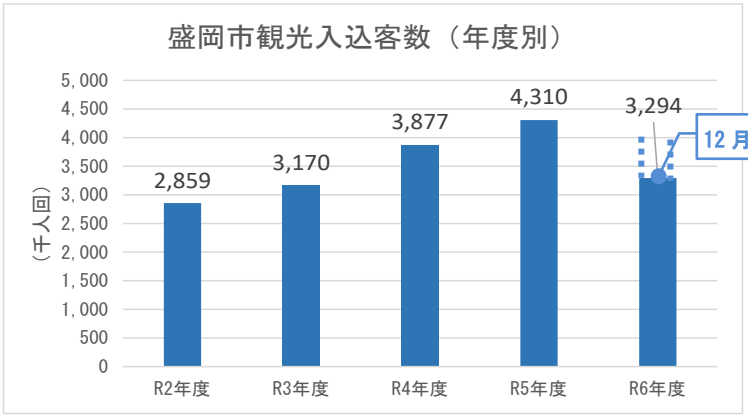


図　年度別盛岡市観光入込客数（※R6 年度は 12 月まで）

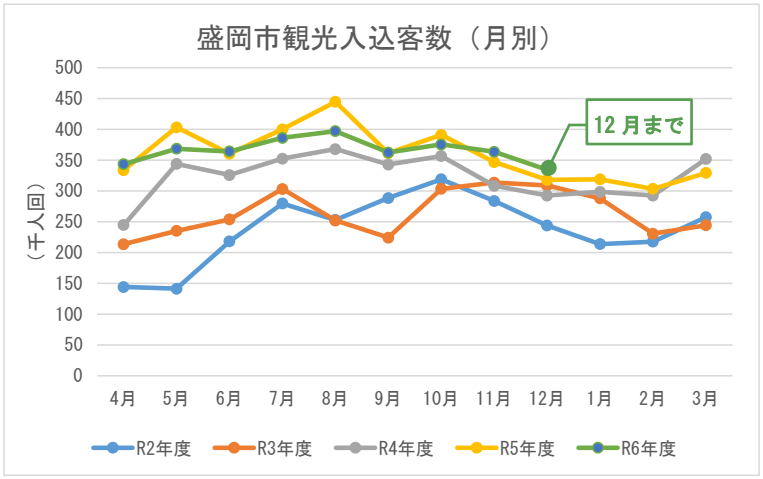
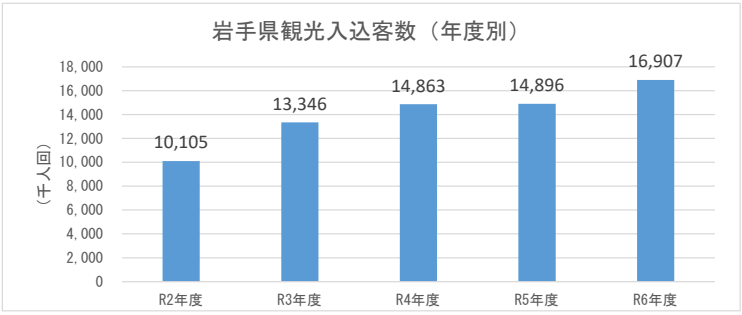


図　月別盛岡市観光入込客数（※R6 年度は 12 月まで）

・盛岡市の観光入込客数の推移（左上図・左中図）を岩手県全体（下図）と比較して見ると、いずれも増加傾向が見られる。

・令和５年１月にニューヨークタイムズ紙が発表した「2023 年に行くべき 52 カ所」において盛岡市がロンドンに次いで 2 番目となったことが広く周知されており、令和５年度は、岩手県が令和 4 年度とほとんど変化がなかったのに対して、盛岡市は約 10%増加している。

・令和 6 年度は令和 5 年度と比較すると５月、８月に減少が見られ、猛暑の影響等が原因と推測される。

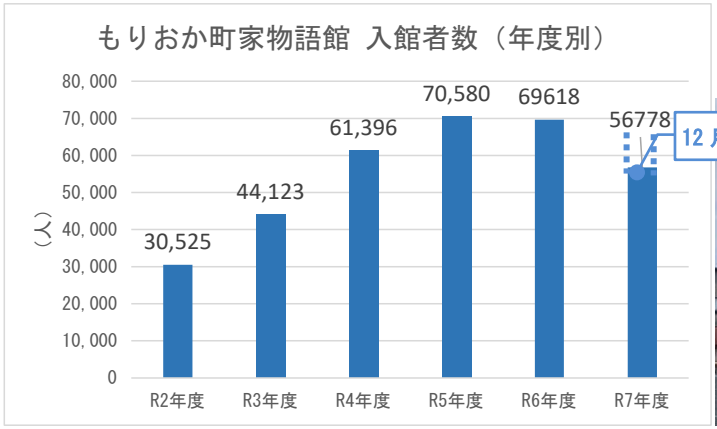


参考図　岩手県観光入込客数（年度別）　（資料：令和 6 年岩手県観光統計概要）

No.13	沿川集客施設の利用状況	
モニタリング指標		もりおか町家物語館利用者数、御蔵利用者数
収集手法		盛岡市よりデータを提供いただく
調査・事業の枠組み		盛岡市 施設管理
調査主体		盛岡市（観光課）
収集時期・頻度または回数		おおよそ冬頃・年に 1 回
かわまちの取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	イベント

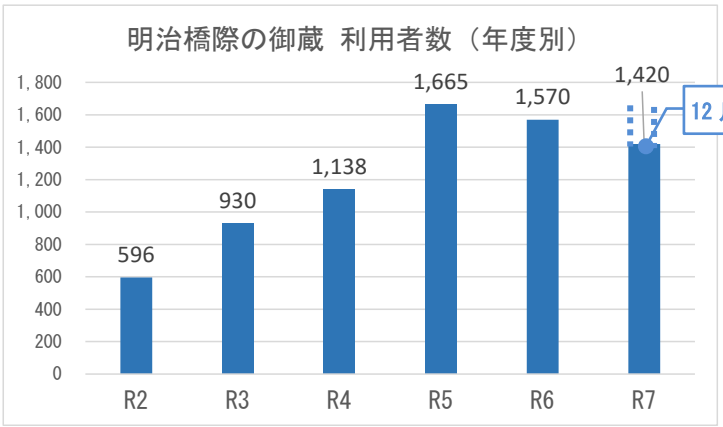
R3-R7 モニタリング結果

《もりおか物語館　入館者数》





《御蔵　利用者数》



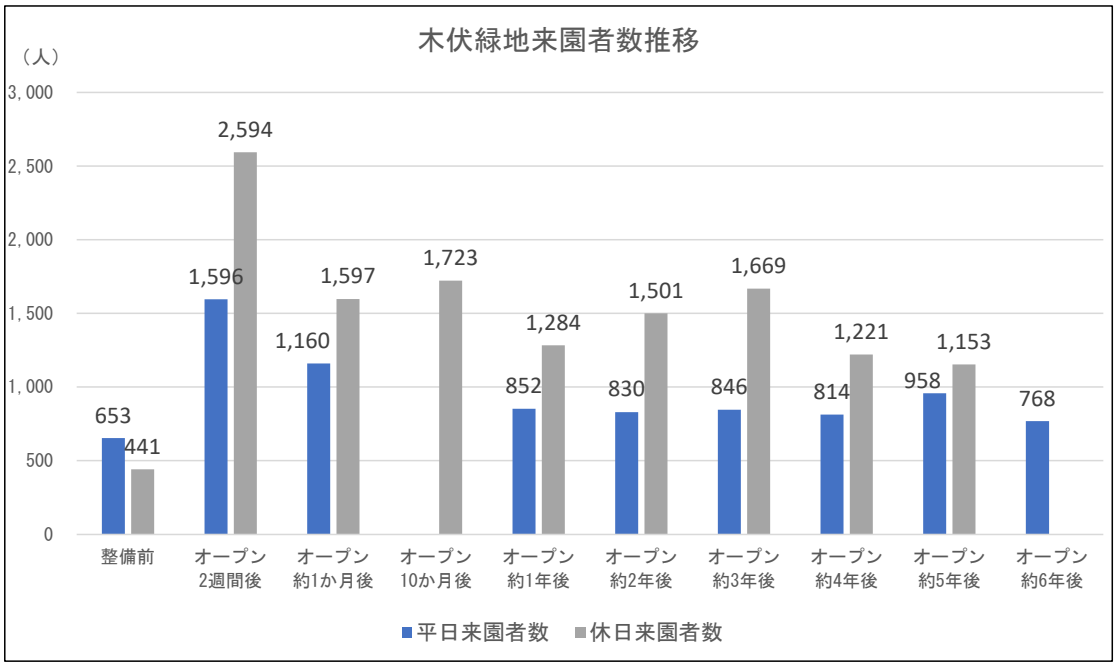


・もりおか町家物語館、御蔵の両施設ともに R2 年度より増加傾向にある。R 元年より新型コロナ感染症の影響があったが、令和 5 年 5 月に 5 類感染症に移行することで再び観光行動が活性化すると同時に、令和 5 年 1 月にニューヨークタイムズ紙が発表した「2023 年に行くべき 52 カ所」において盛岡市がロンドンに次いで 2 番目となったことなども影響して両施設の入込者数は令和 5 年度に大きく増加したものと推察される。

・R 6 年度には両施設ともに前年と比較して微減の傾向が見られたが、R7 年度は 12 月までの数字ではあるものの、順調な伸びを示していると捉えられる。

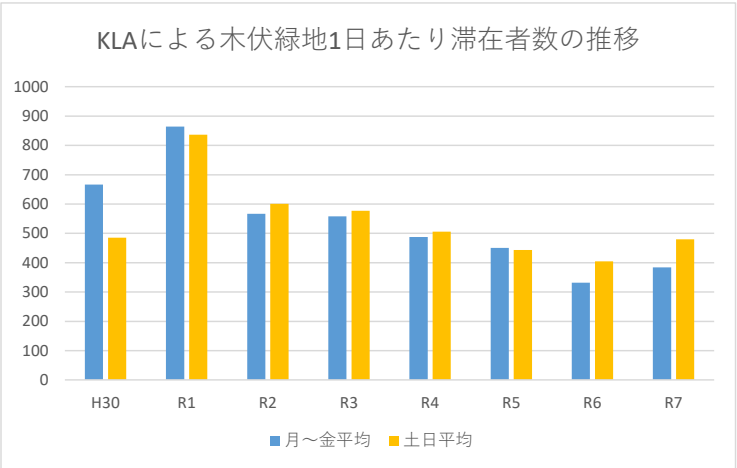
No.14	木伏緑地の利用者数	
モニタリング指標		木伏緑地の利用者数
収集手法		盛岡市実施の利用者数調査結果を提供いただく
調査・事業の枠組み		盛岡市 施設管理
調査主体		盛岡市（公園みどり課）
収集時期・頻度または回数		1 月・年に 1 回
かわまちの取り組み	ハード	親水（船着場、スロープ）
	ソフト	ー

R3-R7 モニタリング結果



・木伏緑地の来園者数の推移を上図に示す。オープン後に大幅な伸びが確認されて以降、多少の増減があるが、概ね横ばいからやや減少の傾向となっている。
・上図は各年において平日と休日各 1 日をサンプルとした調査結果であることから、以下に KLA※を用いた木伏緑地の 1 日あたりの来園者数の推移を示す。

※・・・KDDI 社が提供しているスマホの GPS 情報を利用した商圏分析・位置情報分析ツール
（データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」）



左に KLA による木伏緑地における月～金曜と土日の各 1 日あたり平均滞在者数（15 分以上滞在）の年度別の推計データを示す。令和元年のオープン時に増加して以降、一貫しての減少傾向であったが、R7 年度は増加に転じていることが認められる。

No.15　木伏緑地のイベント開催状況

モニタリング指標		木伏緑地のイベント数および参加者数
収集手法		盛岡市よりデータを提供いただく
調査・事業の枠組み		盛岡市　施設管理
調査主体		盛岡市（公園みどり課）
収集時期・頻度または回数		1 月・年に 1 回
かわまちの取り組み	ハード	親水（船着場、スロープ）
	ソフト	イベント、活動団体

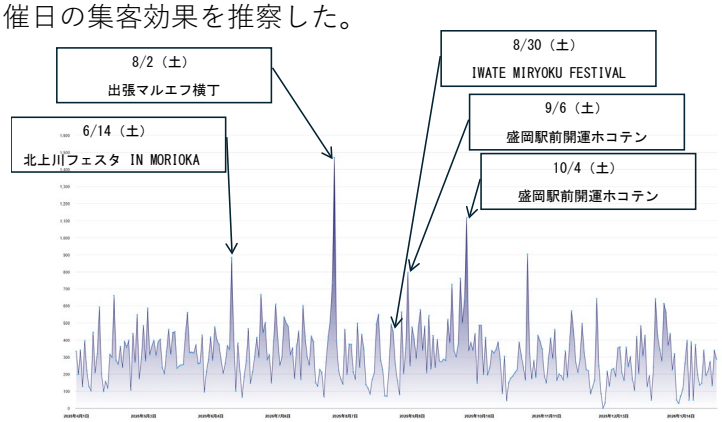
R3-R7 モニタリング結果

R1､R2 年度は 1 回イベントが開催されている。R3 年度はコロナウイルスの影響により木伏緑地のイベントは開催されなかったが、R4 年度は 5 回、R5 年度は 2 回、R6 年度は 4 回のイベントが開催されている。

これまでに開催したイベントの開催状況

年度	開催日	イベント名	参加者数（人）	備考
R1	2019/9/9(月)	木伏緑地オープニングイベント（レセプション）	240	招待者：約120人、一般：約120人
R2	2020/10/17(土)～18(日)	木伏緑地1 周年記念イベント（KIPPUSHI 1st Anniversary Festival）	9,200	河川敷でのアクティビティ利用者：未集計
R3	（開催なし）			
R4	2022/4/23(土)	Homies Kitchen　in KIPPUSHI	70	
	2022/7/2(日)	あつ盛フェスタ	200	
	2022/7/8(金)	水辺で乾杯	50	
	2022/9/10(土)	木伏緑地 3 周年記念イベント（KIPPUSHI 3rd Anniversary Festival）	未集計	河川敷でのアクティビティ利用者：63人
	(2022/12/11(日))	河川敷サウナイベント	10	
R5	2023/5/3(水)	N.O.R city in KIPPUSHI	未集計	
	2023/9/9(土)	木伏緑地 4 周年記念イベント（KIPPUSHI 4th Anniversary Festival）	未集計	
R6	2024/7/19(金)～21(日)	出張マルエフ横丁	未集計	
	2024/8/4(日)	KIPPUSHI SOUND MARKET	未集計	
	2024/9/14(土)～16(月祝)	KIPPUSHI 5th AnniversaryFestival	未集計	
	2024/10/26(土)	MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校　学園祭	未集計	
R7	2025/8/1(金)～3(日)	出張マルエフ横丁	未集計	
	2025/8/30(土)	IWATE MIRYOKU FESTIVAL	未集計	

R7 年度のイベント開催日において、KLA（KDDI Location Analyzer）を用いて、イベント開催日の集客効果を推察した。



・主催イベント及び近隣でのイベント開催日において来訪者が顕著に多かったことがわかる。

（6/14 は「チャグチャグ馬コ」が同時開催）
（8/2 は「盛岡さんさ踊り」が同時開催）

図　KLA による日別来訪者数推計（2025 年 4 月～2026 年 1 月）（滞在時間 15 分以上）

（データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」）